

2019年度 和泉短期大学 シラバス

授業科目名	保育内容「健康」	教員氏名	井狩 芳子
学年	1年	開講学期	前期・後期
授業形態	演習	単位数	1単位
必修・選択	保育士・幼免必修	実務経験	
テーマ	乳幼児の健康について、「領域『健康』」のねらいと内容にそって、基本の知識を学ぶ		
ディプロマポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。		○
	2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。		
	3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。		
カリキュラムポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する	
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う	○
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける	
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う	
授業の概要	<p>1、導入として、保育観の共通認識をしたうえで、乳幼児の日々の生活と成長に必須である「生きる力(五感/恒温/生活リズム/食育)・体力(協応動作/脳を含む)・基本的生活習慣・あそび・安全」の五つの視点について、基本知識の習得に努め、並行して、トピックスをとおして現代っ子の健康課題を把握する。</p> <p>2、この学びをとおし、学びの主体である学生自身が日々の生活を振り返り、自身の健康課題を探り、必要に応じて修正する機会とし、授業の最終段階では、“保育者の卵”として、また、「育てられる者から、育てる者へ」の変革期に在ることを認識し、同時に成人として健康な生活を送れる力の習得を目指す。</p> <p>3、授業内では、ワークや課題に取り組み、知識の定着をおこなう</p> <p>4、授業前には、自身のスムーズな学びに向け指示の内容について事前学習をし、授業後には、知識定着のために事後学習をする。返却された課題についてはその内容を確認する。</p>		
授業の到達目標	<p>1、領域「保育内容『健康』」の、意義・ねらい・内容の概要を把握し説明できる。</p> <p>2、現代日本の子どもの健康課題を把握し、子どもの元気を育むための保育者としての役割を認識できる</p> <p>3、自身の健康課題を認識し、改善への具体策を講じようとする</p> <p>4、乳幼児が基本的生活習慣を身に付け、健康で安全な生活を作り出す力を養うための指導法を学び、それを説明できる。</p> <p>5、「4」の保障を目指し、保護者と保育者の協働が必要なことに気付き、その視点を述べようとする</p> <p>6、後期開講科目である「総合的指導法『健康』」の授業に向けて、基本の力を身に付ける</p>		
テキスト	「演習 保育内容 健康」萌文書林 2018 井狩芳子著		
参考書	・文部科学省「幼稚園教育要領」・厚生労働省「保育所保育指針」・内閣府「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」・文部科学省「幼児期運動指針」・その他関連科目の各教科書		
プリント	授業中にプリントを配布する		
ポートフォリオ	1、「乳児期の全面発達概要(第8回授業)」に係る課題(下記1枚=③) 2、授業内で取り組んだワークシート(下記5枚=①②④⑤⑥)をファイルする		
課題の確認と成績評価方法	<p>1、授業中課題への取り組み姿勢と理解:30点・・・(①現代っ子の健康課題 ②五感の獲得(視力) ③全面発達の把握(指定課題) ④あそび ⑤安全遊具 ⑥安全管理)</p> <p>2、学びの理解(第14回目に実施):70点・・・(指針の把握、生理的データ、子どもの体力、基本的生活習慣、現代っ子/日本の健康課題)</p> <p>* 授業内容に関する質問は、各時間の終了時とオフィスアワーに受け付けます。内容は、質問の内容/学籍番号/氏名/受講曜日時間を記し、提示願います</p> <p>* 本授業の課題/資料は、後期の授業(総合的指導法「健康」)で使用します。廃棄せずに保管し、後期授業に持参願います</p>		

授業概要と課題

第1回	テーマ 内容	①保育観の捉え方 ②「保育・教育」の意義と役割の理解
	授業外指示	<予習>当該科目シラバスの通読 <復習>プリントで紹介した内容(①子どもとは ②保育観 ③自身の健康管理の必要性)について、教科書第1章を読み、知識の定着を図る
第2回	テーマ 内容	①領域「健康」の捉え方:要領/指針の概要把握と幼児期運動指針(2012)の紹介 ②子ども理解(グループワーク) ③現代っ子の健康課題(自身の健康課題も含)
	授業外指示	<予習>保育所保育指針/幼稚園教育要領等の3冊の冊子より「健康領域」の箇所を確認 <復習>①本授業の根幹となる、健康領域についての「内容」箇所を暗記しようと努める ②配布プリントと教科書第2章を読み、健康が保障された子どもの姿(つまり、モデルとすべき子どもの健康観)の定着を図る
第3回	テーマ 内容	①二十四節気/五節句の概要把握 ②現代日本の健康課題把握:視聴覚教材視聴(前半)。専門家が指摘する健康課題を認識/自身の健康状況の振り返り <<課題No.1前半>>
	授業外指示	<予習>教科書p170~172の通読。特に、P171の二十四節気/五節句の内容を知り、自身の体験を思い出して授業に参加 <復習>配布プリントと教科書第3章を通読し、健康課題への認識定着
第4回	テーマ 内容	①現代日本の健康課題把握:視聴覚教材視聴(後半)<<提出課題No.1後半>> ②立体視力測定:測定と結果省察、未獲得者についての改善策についてグループワーク<<提出課題No.2>>
	授業外指示	<予習>先回の視聴覚教材前半を憶えて授業に参加 <復習>自身の日常生活における五感の働きを意識し、特に、自身の視覚の使い方(例:ブルーライト被曝、俗に言う“若者老眼”)を振り返り、改善策を考える
第5回	テーマ 内容	現代っ子の健康課題 トピックスその1:感覚(五感)の役割と保育の視点。自身の五感体験についてグループワーク
	授業外指示	<予習>「五感(ヒトが持つ五つの感覚)」の項目を認識して授業に参加 <復習>配布プリントと教科書第6章を通読し、五感の働きや発達のプロセス/獲得を目指す際の保育者の留意点についての知識定着を図る <今後の課題>保育実践についてイメージを持つとする
第6回	テーマ 内容	現代っ子の健康課題 トピックスその2:哺乳動物における恒温についての役割と保育の視点。恒温獲得の手法についてグループワーク
	授業外指示	<予習>体温について、自分の平熱を知って授業に参加 <復習>配布プリントと教科書第5章を通読し、恒温の働きや発達のプロセス/獲得を目指す際の保育者の留意点についての知識定着を図る <今後の課題>保育実践についてイメージを持つとする
第7回	テーマ 内容	現代っ子の健康課題 トピックスその3:生活リズムについての基礎知識と保育の視点。「生活リズム獲得保障」についてグループワーク
	授業外指示	<予習>生活リズムについて、第3回目授業の視聴覚教材で紹介された課題を認識して授業に参加 <復習>配布プリントと教科書第4章を通読し、その働きや発達のプロセス/獲得を目指す際の保育者の留意点についての知識定着を図る <今後の課題>保育実践についてイメージを持つとする
第8回	テーマ 内容	乳幼児の発育・発達の概要把握(その1)…相互補完の育ちと全面発達・協応動作について。乳児期に出現する粗大運動についてグループワーク<<提出課題No.3>>
	授業外指示	<予習>乳幼児の発達の概要を認識して授業に参加 <復習>配布プリントと教科書第7・8章を通読し、乳幼児の発達の概要を再確認し、特に「協応動作の獲得の重要性」を認識し知識定着を図る <今後の課題>スムーズな協応動作獲得に向けた保育実践に関心をもとうとする
第9回	テーマ 内容	乳幼児の発育・発達の概要把握(その2)…乳幼児期の脳の発達・概念形成・言葉の獲得(第一次概念形成)と保育者/保護者の役割についてグループワーク
	授業外指示	<予習>“概念形成”という言葉を理解して授業に参加 <復習>配布プリントと教科書第9章を通読し、第一次概念形成の獲得のプロセスと「五感体験の重要性」についての知識定着を図る <今後の課題>スムーズな概念形成獲得を意識した保育実践の視点を持つとする

第10回	テーマ 内容	基本的な生活習慣の獲得と保育者の眼差し ①基本的な生活習慣とは ②自身の振り返り ③普遍的側面と変容的側面の把握 ④現代健康課題についてグループワーク
	授業外指示	<予習>市販されている「子ども用・紙パンツ」のサイズを調べ、授業に参加 <復習>配布プリントと教科書第10章を通読し、P124に提示された獲得時期の目安の知識定着、随意効果を認識。 <今後の課題>第一次概念形成獲得を意識した保育実践を探ろうとする
第11回	テーマ 内容	①「子どもの遊び」の概要把握(幼児期運動指針等(2012)も活用) ②遊びの意味(各機能促進/非認知能力)と、保育者や園の役割についてグループワーク/視聴覚教材視聴予定<<提出課題No.4>>
	授業外指示	<予習>“小さい頃の自分と今の自分”、其々の時期について遊びの意味と意義を整理して授業に参加 <復習>配布プリントと教科書第13章を通読し、子ども期に必要な遊びの要素に関する知識の定着を図る <今後の課題>“子ども期にふさわしいあそび”の実践力を習得しようとする
第12回	テーマ 内容	安全の視点(その1):「ハザードとリスク」の理解。不慮の事故撲滅と、生きる力(体力/非認知能力)の定着。さらに、学生が関わられる子どもに対する安全保障についてグループワーク/視聴覚教材視聴予定<<提出課題No.5>>
	授業外指示	<予習>“ハザード/リスク”という言葉を理解して授業に参加 <復習>配布プリントと教科書第12章を通読し、子どもの視点に立った安全生活の保障に関する知識の定着を図る <今後の課題>危険な事象について、ハザードとリスクの視点で客観的に省察する姿勢を持つようとする
第13回	テーマ 内容	①安全の視点(その2):乳幼児の年齢に応じた、安全管理と安全教育。“自身を守り、弱者を守る”視点についてグループワーク<<提出課題No.6>> ②13回分授業の振り返り
	授業外指示	<予習>子どもを取り巻く“ハザード/リスク”を概要把握し授業に参加 <復習>配布プリントと教科書第11章を通読し、子どもの安全生活の保障について知識定着を図る <今後の課題>変化する“ハザード/リスク”に対し、判断力を習得すべく事例収集に努め、気付き力を磨く
第14回	テーマ 内容	全13回の学びについて、知識習得度の確認と気付きの深堀り…①保育者の視点から子どもの健康生活を保障し、②同時に、自身の日々の生活を振り返りながら、③今後の日本の健康課題を考える機会とする
	授業外指示	<予習>第1回～13回の学習内容と、特に強調したキーワードについて復習し、自身の気付きと保育者の援助の際の留意点をまとめる <復習>回答の振り返り
第15回	テーマ 内容	①振り返りと展望 ②全面発達の視点から、こども理解(食育を含む)を深め、「総合的指導法『健康』…後期授業科目」へつなぐ視点提示(視聴覚教材視聴予定)
	授業外指示	<復習>全面発達の視点から、食育を含むこども理解を深め、後期開講科目「総合的指導法『健康』」の学びにつなげる視点を探る <夏季休暇中の課題>①日々の生活やふれあい体験などの機会を利用して学びを深める ②自身の身体特徴に気付き体調管理に努める